

◆ 各区だより ◆

港区 みなとサロン活動の状況

港区の明德学区は国道1号線を挟んで中川区と隣接した地域です。荒子川から庄内川まで東西に長く、昔はのどかな田園地帯でした。昭和34年の伊勢湾台風で大きな水害を受けましたが、その後、住宅地に大きく変化してきました。

今では、老人クラブの活動は、グラウンド・ゴルフ、研修旅行、社会奉仕の清掃等、屋外活動が中心でした。今年から役員の方の変更もあり、新しいことに、チャレンジをしてみるようになりました。

女性役員、女性リーダーさんと相談して誰でも参加できるサロンを開設することになりました。これからの高齢者

皆様方も近くにおいでの際はぜひお寄りください。お待ちしております。

(鳥山 正義)



サロン名	明德サロン「笑」 ^{エミ}
会場	明德学区コミュニティセンター
実施日	毎月 第1土曜日
時間	午前 9:30 ~ 11:30 頃まで
参加費	学区内の方はお一人 100円 学区外の方はお一人 200円
利用状況	15名から 20名
企画内容	◎お茶会、血压測定、折り紙 ◎おしゃべりが中心 ◎今後は歌声体操等を取り入れていきたい

28年6月より開設

◆世話係は学区のクラブ女性役員と女性リーダーの有志にて運営

◆参加は会員以外でも50歳位から(男女を問わずOK)



南区 みなみ

高校生とのつながり結ぶ 温かいマフラー

本年節目の第五十回を迎えた南区老人福祉大会が、残暑の続く中の九月十四日に南区役所講堂で開催されました。

この老人福祉大会の中で行われている『マフラー贈呈式』をご紹介します。南区では、毎年名古屋葵ライオンズクラブ様が材料を寄付し、名古屋市立桜台高校ファッション文化科(南区霞町)の生徒さんが手作りで制作していただいたマフラーを、区内の一人暮らし高齢者の方々に贈るという世代間交流事業が昭和五十一年から始まり、昨年四十回を迎えました。

高校生と高齢者の心温まる世代を超えた交流事業の存在を、多くの人に広く知って



ただきたく、平成二十四年からは、老人福祉大会のなかで、『マフラー贈呈式』を行うこととし、本年も百二十本の寄贈を受け、贈呈式では、実際にマフラーを製作していただいた桜台高校ファッション文化科の生徒代表2名の方から、高齢者代表3名の方へ

マフラーが手渡されました。高齢者と高校生をつなぐ心温まるひと時でありました。

大会アトラクションの部では、会員の歌や舞踊のご披露に加え、毎年幼稚園や保育園の園児さんたちの歌や踊りや手作りプレゼント贈呈もあり、本年は白水保育園の園児さんたちが見事な演奏を披露してくれました。



老人クラブは高齢者だけでなく、様々な人によって支えられているという思いを深く抱きました。これからも世代や地域を超えた、社会とのつながりを大切に活動を進めていくよう努力していきたいと思っております。(田口 欽郎)